



平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成25年4月26日

上場取引所 東

上場会社名 サイオテクノロジー株式会社  
 コード番号 3744 URL <http://www.sios.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 喜多 伸夫  
 (氏名) 小林 徳太郎

TEL 03-6860-5105

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	1,781	4.3	87	7.5	91	13.5	61	50.0
24年12月期第1四半期	1,707	28.0	81	—	80	—	41	—

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 109百万円 (69.1%) 24年12月期第1四半期 64百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	710.68	515.33
24年12月期第1四半期	473.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	3,184	1,600	50.1
24年12月期	3,005	1,514	50.2

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 1,596百万円 24年12月期 1,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	300.00	300.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用します。これに伴い、平成25年12月期(予想)の期末配当金については当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	7.8	260	133.8	260	144.4	140	306.4	16.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用します。これに伴い、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期1Q	88,744 株	24年12月期	88,744 株
-----------	----------	---------	----------

② 期末自己株式数

25年12月期1Q	1,976 株	24年12月期	2,040 株
-----------	---------	---------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期1Q	86,717 株	24年12月期1Q	86,704 株
-----------	----------	-----------	----------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) 重要な後発事象	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## &lt;当第1四半期連結累計期間の概況&gt;

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権下での金融緩和をはじめとする景気対策への期待感から、円安・株高が進行する等、明るい兆しが見え始めました。このような中、当社グループは、ITを通じて顧客企業のコスト削減や競争力強化を実現すべく、引き続き高い成長が継続しているクラウドコンピューティング<sup>(\*)1</sup>（以下、「クラウド」）や、従来からの強みであるオープンソースソフトウェア<sup>(\*)2</sup>（以下、「OSS」）に関連する領域での活動を推進し、景気の波に左右され難い最先端分野での事業拡大に注力しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,781百万円（前年同期比4.3%増）となり、四半期売上高では過去最高となりました。

利益につきましては、増収に加え米国子会社ののれん償却額の計上（前第1四半期は49百万円）が平成24年6月で終了したこと等により、営業利益は87百万円（前年同期比7.5%増）、経常利益は91百万円（前年同期比13.5%増）、四半期純利益は61百万円（前年同期比50.0%増）となりました。また、当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）は104百万円（前年同期比32.2%減）となりました。

各セグメントの業績は、以下の結果となりました。

## (オープンシステム基盤事業)

当事業においては、引き続き営業・技術・マーケティングの各機能強化を行い、競争優位性の構築に努めています。「Red Hat Enterprise Linux」<sup>(\*)3</sup>をはじめ、Linux関連製品やOSSに関する各種コンサルティングサービスは、堅調に推移しました。また、自社製品の「LifeKeeper」<sup>(\*)4</sup>は、前年同期並みに推移しました。これらにより、売上高は1,241百万円（前年同期比6.8%増）、セグメント利益は69百万円（前年同期比64.4%増）となりました。

## (Webアプリケーション事業)

当事業においては、MFP関連ソリューション<sup>(\*)5</sup>の販売が順調に伸長しており、収益への貢献が見られました。また、Google Apps™の機能拡張サービスである「Gluegentシリーズ」<sup>(\*)6</sup>をはじめとするクラウド分野の製品・サービスの提供に注力しており、導入が概ね堅調に推移しました。なお、業務アプリケーションのクラウド化が加速する中、当社子会社の株式会社グルージェントとソフトバンクテレコム株式会社は、平成25年3月にクラウド事業分野で提携を行い、クラウドソリューションの強化を一層推進しています。一方、システム導入支援における大型案件が前期より減少したことが、売上高及び売上総利益の減少要因となりました。これらにより、売上高は539百万円（前年同期比1.0%減）、セグメント利益は18百万円（前年同期比53.3%減）となりました。

## (\*1) クラウドコンピューティング

コンピュータ処理をネットワーク（通常はインターネット）経由でサービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

## (\*2) オープンソースソフトウェア

ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。

## (\*3) Red Hat Enterprise Linux

世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。

(\*4) LifeKeeper

米国子会社SIOS Technology Corp. (旧SteelEye Technology, Inc.) の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA (ハイアベイラビリティ) クラスタソフトウェア。

(\*5) MFP関連ソリューション

プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multi Function Peripheralの略)という。MFPを効率的に利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」等の開発・販売・保守。

(\*6) Gluegentシリーズ

「クラウド」の領域に強みを持つ子会社株式会社グルージェントが開発したサービス。社内のワークフローをクラウド化する「Gluegent Apps ワークフロー」の他、チームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Apps グループスケジューラー」等、クラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

流動資産は、売掛金の増加317百万円、現金及び預金の減少171百万円等の要因により、2,768百万円(前連結会計年度末比4.0%増)となりました。

固定資産は、差入保証金の増加80百万円、投資有価証券の減少5百万円等の要因により、416百万円(同21.3%増)となりました。

この結果、総資産は、3,184百万円(同5.9%増)となりました。

②負債

流動負債は、買掛金の増加188百万円、未払法人税等の減少74百万円等の要因により、1,456百万円(前連結会計年度末比6.0%増)となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加11百万円等の要因により、126百万円(同8.2%増)となりました。

この結果、負債合計は、1,583百万円(同6.2%増)となりました。

③純資産

純資産合計は、当四半期において四半期純利益61百万円を計上したこと等の要因により、1,600百万円(前連結会計年度末比5.7%増)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、現時点では平成25年1月31日に公表しました業績予想の水準で推移しております。第2四半期以降においても、想定する水準で推移すると予想しており、当該業績予想の修正はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,586,154	1,414,674
受取手形及び売掛金	736,269	1,053,952
仕掛品	30,478	16,605
繰延税金資産	37,351	42,267
前渡金	188,582	164,270
その他	90,163	80,819
貸倒引当金	△6,034	△4,270
流動資産合計	2,662,967	2,768,319
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	29,940	28,737
その他(純額)	30,950	39,647
有形固定資産合計	60,891	68,385
無形固定資産		
のれん	39,425	36,265
その他	52,264	46,720
無形固定資産合計	91,690	82,985
投資その他の資産		
投資有価証券	5,000	—
差入保証金	182,443	262,605
その他	2,917	2,155
投資その他の資産合計	190,360	264,761
固定資産合計	342,942	416,132
資産合計	3,005,910	3,184,451

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	189,236	377,708
1年内返済予定の長期借入金	5,508	5,508
未払法人税等	111,927	37,453
前受金	817,215	780,479
賞与引当金	—	40,181
引当金	—	403
その他	250,624	214,957
流動負債合計	1,374,511	1,456,691
固定負債		
長期借入金	11,656	10,279
退職給付引当金	103,445	115,413
その他	2,075	1,120
固定負債合計	117,176	126,813
負債合計	1,491,687	1,583,504
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	472,108	473,130
利益剰余金	△53,612	△17,995
自己株式	△48,995	△47,458
株主資本合計	1,851,020	1,889,197
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△340,577	△292,759
その他の包括利益累計額合計	△340,577	△292,759
新株予約権	2,239	2,645
少数株主持分	1,539	1,863
純資産合計	1,514,222	1,600,947
負債純資産合計	3,005,910	3,184,451



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
売上高	1,707,415	1,781,398
売上原価	1,039,639	1,137,861
売上総利益	667,775	643,536
販売費及び一般管理費	586,244	555,896
営業利益	81,531	87,639
営業外収益		
受取利息	225	561
為替差益	—	3,166
消費税等調整額	486	—
その他	50	132
営業外収益合計	762	3,859
営業外費用		
支払利息	171	147
為替差損	1,611	—
その他	6	7
営業外費用合計	1,788	155
経常利益	80,504	91,344
特別利益		
新株予約権戻入益	15,591	39
事業譲渡益	12,227	—
関係会社株式売却益	—	4,160
特別利益合計	27,818	4,200
特別損失		
固定資産除却損	213	—
特別損失合計	213	—
税金等調整前四半期純利益	108,109	95,544
法人税、住民税及び事業税	89,242	37,217
法人税等調整額	△20,795	△3,624
法人税等合計	68,446	33,593
少数株主損益調整前四半期純利益	39,662	61,951
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,411	324
四半期純利益	41,074	61,627

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	39,662	61,951
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	25,241	47,818
その他の包括利益合計	25,241	47,818
四半期包括利益	64,904	109,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	66,316	109,445
少数株主に係る四半期包括利益	△1,411	324

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステム 基盤事業	Webアプリケーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,162,501	544,913	1,707,415	—	1,707,415
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,162,501	544,913	1,707,415	—	1,707,415
セグメント利益	42,098	39,432	81,531	—	81,531

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## (参考情報)

## 地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

## 売上高

## 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
1,610,037	57,689	27,647	12,039	1,707,415

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステム 基盤事業	Webアプリケーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,241,920	539,477	1,781,398	—	1,781,398
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,241,920	539,477	1,781,398	—	1,781,398
セグメント利益	69,226	18,413	87,639	—	87,639

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

## (参考情報)

## 地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

## 売上高

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
1,688,662	50,341	24,822	17,571	1,781,398

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。